



とちぎ  
2021

# 県政のあゆみ

## 0 OLYMPIC TORCH RELAY

Hope Lights Our Way

希望の道をつなぐ





# 1月~2月

## いちご王国を全国にPR

1月

「いちご王国・栃木の日」の宣言から3周年を記念するイベントを開催

「いちご王国・栃木の日」の宣言から3周年となる1月15日にオンラインイベントを開催しました。学生によるファッションショーやタレントでとちぎ未来大使の井上咲楽(いのうえさくら)さんと福田知事とのトークイベントなどを通じて「いちご王国・栃木」を全国に発信しました。この後、大阪において、阪神百貨店梅田本店での「いちご王国・栃木」フェアや期間限定ショップ「とちぎのいちごや」を展開しました。



\*\*\*\*\*

## 「栃木県民ごはんの日」プロジェクト始動

2月

毎月「5(ご)」と「8(はん)」のつく日を「栃木県民ごはんの日」として制定



コロナ禍により、米の消費がさらに減少することが懸念されるため、毎月「5(ご)」と「8(はん)」のつく日を「栃木県民ごはんの日」として制定しました。

また、制定と合わせ県民に改めてお米の良さを知ってもらい、ごはんを食べる機会を増やすため、「栃木県ごはんの日」プロジェクトを実施。県内の各団体・飲食店等が協賛事業としてプレゼントキャンペーンや県産米の

提供など、米の消費拡大に寄与する事業に取り組みました。

\*\*\*\*\*

## 林野火災、甚大な被害を食い止める

2月

令和3年2月足利市林野火災発生

2月21日に足利市西宮町の両崖山(りょうがいさん)で発生した林野火災は、乾燥注意報と強風注意報が併せて発令という悪条件が重なり、3月15日に鎮火されるまでに約167ヘクタールの林野被害が生じました。消防と自衛隊による懸命な消火活動により、人的被害および住家被害はありませんでした。県では関係機関と連携しながら災害情報の収集や発信、防災ヘリによる消火活動などを実施しました。



栃木県開催の国体・障害者スポーツ大会を広く周知！

3月

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の公式ポスターデザインが決定！



いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の両大会を県内外に広く周知する公式ポスターのデザインが決定しました。一般公募を行った結果、118 作品の中から最優秀賞に選ばれたのは、本県が生産量日本一を誇る「いちご」を背景に大きく配置した作品。全体にちりばめられた「栃の葉」は一つ一つが国体・障スポへの県民の思いと期待、選手の競技にかける情熱を表していて、それらが集まり人のカタチとなって両大会の象徴として表現されています。また、「栃の葉」には昭和 55 (1980) 年に開催された「栃の葉国体」からの思いのつながりという意味も込められています。

\*\*\*\*\*

高病原性鳥インフルエンザへの対応

3月

県内の養鶏場で初めて高病原性鳥インフルエンザの発生を確認



3月13日に芳賀町内の採卵鶏飼養農場で、本県初となる高病原性鳥インフルエンザが発生しました。発生農場で飼養されていた約7万7千羽の殺処分と埋却をはじめ、周辺家きん等の搬出制限、畜産関係車両等を対象とした消毒ポイントの設置などの防疫措置を市町、農業団体、協定団体等の協力を得て実施し、3月19日に完了しました。

今後も、県内養鶏場における高病原性鳥

インフルエンザの発生予防に努めていきます。

県内産業の活性化に“つながる”！

一般国道 408 号 真岡南バイパス 暫定 2 車線供用開始

北関東自動車道真岡インターチェンジへのアクセス強化による産業活動の支援や現道の渋滞緩和を図るため、平成 26 年度から整備を進めてきた一般国道 408 号真岡南バイパス(全体延長約 3.1 キロメートル)が 3 月 20 日に暫定 2 車線で開通となりました。

これにより、鬼怒川左岸地域における広域道路ネットワークが構築され、物流の効率化などによる地域経済の発展に大きく寄与するものと期待されます。

引き続き、完成 4 車線供用に向けて整備を進めていきます。



3月

\*\*\*\*\*

Society5.0 を見据えた本県デジタル化の指針

とちぎデジタル戦略の策定

とちぎデジタル戦略(概要)

とちぎデジタル戦略は、Society5.0の実現に向け、様々な立場の方々と共に取り組む、とちぎ県民のデジタル化の指針となるものとする。

現状と課題	4つの戦略	目指す社会
<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化の遅れ</li> <li>デジタル人材不足</li> <li>デジタルセキュリティ</li> <li>デジタルインフラ</li> </ul>	<p><b>戦略1</b> デジタル化の推進を加速させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化の推進を加速させる</li> <li>デジタル化の推進を加速させる</li> <li>デジタル化の推進を加速させる</li> </ul> <p><b>戦略2</b> デジタル人材を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル人材を育成する</li> <li>デジタル人材を育成する</li> <li>デジタル人材を育成する</li> </ul> <p><b>戦略3</b> デジタルセキュリティを確保する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルセキュリティを確保する</li> <li>デジタルセキュリティを確保する</li> <li>デジタルセキュリティを確保する</li> </ul> <p><b>戦略4</b> デジタルインフラを整備する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルインフラを整備する</li> <li>デジタルインフラを整備する</li> <li>デジタルインフラを整備する</li> </ul>	<p>経済成長と社会課題の解決を促進し、持続可能な社会を実現する。</p> <p>デジタル化の推進により、社会課題の解決が促進される。</p> <p>デジタル化の推進により、社会課題の解決が促進される。</p>

デジタル化の進展を見据え、さまざまな立場の方々と共にデジタルを活用した地域課題解決に取り組むなど本県デジタル化の指針となる「とちぎデジタル戦略」を策定しました。戦略に掲げた取組を推進し、「とちぎ発」「とちぎ方式」などと言われるような新たな仕組みや価値を創造していきます。

3月

\*\*\*\*\*

聖火ランナーが県内を走破！

東京 2020 オリンピック聖火リレー

東京 2020 オリンピック聖火リレーが、28 日と 29 日の 2 日間、県内 16 市町を 191 名のランナーが聖火をつなぎ、57 年ぶりに本県で実施されました。

1 日目は足利市から那須烏山市まで、2 日目は那須町から宇都宮市までを駆け抜け、各市町では地域の特色ある伝統芸能や子どもたちの演奏などが披露されました。また、それぞれの日の最終地点では、聖火の到着を祝うセレモニーを実施しました。



3月

## 「新しいとちぎ」づくりに挑戦！

4月

### 栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」がスタート



県では、今後5年間の県政の基本指針となる栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」を新たに策定し、4月1日からスタートさせました。めざす将来像を「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」と掲げ、デジタル化の進展、「新たな日常」やSDGsへの対応といった視点を取り入れながら、「人材育成戦略」を第1の柱とする5つの重点戦略の下、18のプロジェクトを積極的に推進し、「新しいとちぎ」づくりに挑戦していきます。

\*\*\*\*\*

## 国体会場となる日環アリーナ栃木がオープン！

4月

### 栃木県総合運動公園東エリアの供用開始

県民誰もがスポーツを楽しみ、健康づくりを図る施設として、また、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催に向けた競技力向上を目指した選手育成など、スポーツによる人材育成に寄与する推進拠点となる施設として整備を進めていた日環アリーナ栃木(栃木県総合運動公園東エリア)が完成し、4月1日から供用を開始しました。



本施設は新体育館であるメインアリーナ・サブアリーナ、日本水泳連盟公認の屋内水泳場、トレーニング室、多目的スタジオといった複合的な体育施設となっており、国体会場となるほか、プロスポーツなどの大規模大会の開催など、県民の誰もが気軽にスポーツに親しむことができる施設としても整備されており、県民総スポーツの推進拠点となっています。

\*\*\*\*\*

## いちご経営者を目指して第1期生が入学！

4月

### 農業大学校「いちご学科」創設！



栃木県農業大学校では、企業的な経営感覚を持ち、次世代の「いちご王国・栃木」をけん引する「いちご経営者」の育成を目的として、4月に「いちご学科」を創設し、第1期生9名が入学しました。

入学生の年齢は10代から40代までと幅広いですが同じ志を持つ者同士、互いに切磋琢磨しながら、「実践教育」「主体的な学び」「産地や関係機関等との連携」等の特徴あるカリキュラムの下、いちご経営者を目指して日々熱心に学んでいます。

# 4月～5月

## 豚熱 (CSF) への対応

4月

### 県内の養豚農場で初めて豚熱 (CSF) の発生を確認

4月17日に那須塩原市内の2つの豚飼養農場で本県初となる豚熱が発生しました。

殺処分頭数は、国内最大の規模となる約3万9千頭となり、発生早期にウイルスを封じ込めるため、県庁職員を中心に、市町、農業団体、協定団体等の協力を得て延べ17,050名を動員。殺処分や埋却、畜産関係車両等を対象とした消毒ポイントの設置などの防疫措置を実施し、5月17日に完了しました。



今後も、県内養豚農場における豚熱の発生予防に努めていきます。

\*\*\*\*\*

## スポーツ施設だけでなく獣害対策にも～射撃場が宇都宮市にオープン！

4月

### 栃木県ライフル射撃場オープニング記念式典を開催



いちご一会とちぎ国体に向けて工事を進めていたライフル射撃場が完成し、4月25日にオープニング記念式典を開催しました。50メートル小口径ライフル射撃用の第一射場、10メートルエアライフル射撃用の第二射場、100メートル大口徑ライフル射撃用の第三射場からなる施設

であり、ライフル射撃競技の県内の中核施設として、地域スポーツから全国レベルの大会まで幅広く活用できるほか、地域の獣害対策における猟銃による捕獲技術力向上にも寄与する施設です。

\*\*\*\*\*

## 外食する際は感染防止対策が徹底された飲食店で！

5月

### とちまる安心認証申請受付開始

感染防止対策を実施する飲食店を県が認証し公表する「とちまる安心認証」制度を創設し、飲食店からの申請受付を開始しました。右のステッカーが掲示してある飲食店は、県の認証基準を満たす感染防止対策に取り組んでいるお店であり、認証店については県ホームページで公開するなど、外食時の認証店の積極的な利用を推奨しています。



**浸水被害への早期対応を強化  
栃木県排水ポンプ車出動式**

5月



県では、平成27年関東・東北豪雨や令和元年東日本台風による大規模災害を踏まえ、浸水の早期解消を図ることを目的に、排水ポンプ車を3台配備しました。また、排水作業の安全を祈念するとともに、関係者の士気高揚を図るため、5月18日に、「栃木県排水ポンプ車出動式」を県庁前で行いました。

災害発生時に迅速かつ的確な作業を行えるよう、毎年、出水期前に操作訓練を実施していきます。

\*\*\*\*\*

**ものづくり産業のさらなる発展を目指して**

5月

**「戦略3産業×未来3技術」推進体制の発足**

令和3(2021)年度から、これまでの産業成長戦略を見直し、自動車、航空宇宙、医療福祉機器の各産業を「戦略3産業」と位置付けて重点的に支援するとともに、AI・IoT・ロボット、光学、環境・新素材の各技術を「未来3技術」と位置付けて新技術の開発・活用を促進し、「戦略3産業×未来3技術(スリーバイスリー)」の相乗効果によるものづくり産業のさらなる発展を目指すこととしました。



5月18日、新たに「とちぎ未来技術フォーラム」を設立し、スリーバイスリーの推進体制をスタート。県ではこれを契機に、産学官金ネットワークによる交流の促進や、ものづくり企業による技術開発への支援等に、これまで以上に取り組みます。

\*\*\*\*\*

**誰一人取り残さない社会の実現を目指して**

5月

**「地域共生社会推進フォーラム」の開催**



子どもや大人、高齢者まで、世代や障害の有無にかかわらず、すべての住民が互いに支え合いながら、安心して暮らせる社会の実現に向けて関係者の理解を深めるため、「地域共生社会推進フォーラム」を開催しました。

フォーラムでは、中央大学法学部 宮本太郎教授による講演のほか、行政や社会福祉法人等、地域の福祉活動実践者によるミニ座談会を開催し、「地域共生社会」の実現を目指す具体的な行動に向け、それぞれの専門性を尊重・理解し合い、共に学び合うことができました。

県では、オール“とち”ぎで、“まる”ごと取り組む「とちまる地域共生社会の実現」を目指し、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、地域福祉の推進に取り組んでいきます。



# 5月~6月

## 栃木県に AI 導入と活用を

5月

### とちぎビジネス AI センターを開所

県内企業における AI 等の未来技術の導入・利活用を促進するための拠点施設として、とちぎ産業創造プラザ内に「とちぎビジネス AI センター」を整備し、5月31日にオープニングセレモニーを開催しました。

センターでは、最新情報の発信による普及啓発や、AI などの技術が用いられた各種ソリューションの展示、研修による企業内デジタル人材の育成、企業のニ

ーズに応じた個別相談・導入支援など、きめ細かな支援を実施しています。



\*\*\*\*\*

## 芳賀・宇都宮 LRT 車両「ライトライン」がやってきた！

5月

### 芳賀・宇都宮 LRT 車両お披露目式を開催



芳賀・宇都宮 LRT 車両(愛称:ライトライン)の1編成目が宇都宮市平出町の車両基地に納入されたことを記念して、5月31日に車両お披露目式が行われました。

「LRT」とは、「ライト・レール・トランジット」の略で、低床式車両の活用や定時性、速達性などの面で優れた特徴を持つ次世代型の路面電車。芳賀・宇都宮 LRT は、宇都宮駅東口から芳賀・高根沢工業

団地の延長 14.6 キロメートルを結ぶ路線として、平成 30 年度から宇都宮市と芳賀町で整備を行っており、県でも支援をしています。

\*\*\*\*\*

## 栃木県 ABC プロジェクト始動！

6月

### 第1回目の自動運転実証実験を茂木町で実施

県では、「栃木県 ABC プロジェクト」と称して、令和 7 年度からの自動運転システム(Autonomous)を導入した路線バス(Bus)の本格運行を目指した挑戦(Challenge)を進めており、県内各地で実証実験を行っています。第1回目の実験である茂木町では、あらかじめ高精度なデジタル地図を作り、GPSなどで車両の位置を正確に把握した上で、センサーやカメラで歩行者や障害物、信号機など、周辺の安全を確認しながら自動運転で走行しました。今後もレベルアップをしながら実証実験を実施していきます。



県民総スポーツ推進拠点の1つが誕生！

6月

なでしこジャパン vs メキシコ女子代表戦開催！

カンセキスタジアムとちぎにてサッカー日本女子代表が国際親善試合を開催



栃木県総合運動公園内に前年7月23日開場したカンセキスタジアムとちぎにて、6月13日に「MS & AD カップ2021」が行われ、日本女子代表の国際親善試合が開催されました。同

スタジアム初の国際親善試合で、結果は5-1で日本の快勝、会場には約4,000人の観客が訪れ、試合を観戦・応援しました。

カンセキスタジアムとちぎでは、10月に開催する「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開会式が予定されているなど、「県民総スポーツの推進拠点」として多くの利活用が期待されています。

\*\*\*\*\*

新型コロナワクチン接種の加速化を目指して

6月

県営「とちぎワクチン接種センター」の設置

県では、市町のワクチン接種体制を補完し、円滑なワクチン接種を推進するため、6月16日にとちぎ健康の森(宇都宮市)に県営「とちぎワクチン接種センター」を開設したほか、本県が緊急事態措置区域に指定された9月には、矢板市文化会館(矢板市)、県南体育館(小山市)に新たな県営接種会場を開設しました。加えて、8月に済生会宇都宮病院(宇都宮市)、9月に佐野厚生総合病院(佐野市)、那須赤十字病院(大田原市)の



各病院の協力を得て接種会場を開設するなど、本県のワクチン接種の加速化を図りました。

## 「謎解きゲーム」で本県の魅力を発信！

6月

### 「47位(そこ)からの脱出クイズ」インタラクティブ動画配信を開始



本県のブランド力の向上を図るため、大田原市出身でとちぎ未来大使の森三中 大島美幸さんが、栃木県の観光地や特産品の魅力をクイズ形式で紹介する動画の配信を開始しました。この動画は、見るだけではなく、大島さんと一緒に、いちごや宇都宮餃子®、日光東照宮、鬼怒川温泉等につわる「謎」

を解き明かしながら「47位(そこ)からの脱出」を目指す内容で、デジタルマーケティングを活用して全国に周知しました。クイズの挑戦者は17万人を超え、多くの方々に栃木県の魅力を感じていただきました。

\*\*\*\*\*

## 2050年カーボンニュートラル実現に向けて

7月

### 「とちぎカーボンニュートラル実現会議」の設立

2050年カーボンニュートラル実現に向けて、必要な取組等を示すロードマップ(行程表)を策定するに当たり、産業や交通など各界の代表者から各分野の現状と課題等について幅広く意見を聴き、取組を共有する場として、「とちぎカーボンニュートラル実現会議」を設立しました。



今後は、このロードマップに掲げた取組等について、県民や事業者と一体となって推進し、オールとちぎでカーボンニュートラルの実現を目指していきます。

\*\*\*\*\*

## 気候変動対策をビジネスチャンスに！

7月

### 「とちぎ気候変動対策連携フォーラム」を設立



経済と環境の好循環を生み出し県内産業の成長や持続的な発展を図るため、7月6日に県内企業、金融機関、大学、行政機関等の連携による「とちぎ気候変動対策連携フォーラム」を設立しました。

気温の上昇や大雨の頻発化、熱中症リスクの増加、農作物の品質低下など、気候変動の影響が顕在化する中で、県民の抱える課題やニーズを把握するとともに、県内企業の有する技術を掘り起こし、新たなビジネス創出につなげていきます。

## 果敢にチャレンジする女性農業者の交流の場

### とちぎ女性農業者フォーラム「とちぎびいなす Labo」を設置

7月

女性農業者が集い、学び合い、成長するプラットフォームとして「とちぎびいなす Labo」を設置しました。

幅広い女性農業者のネットワーク化を図るとともに、女性ならではの感性やアイデアを農業経営に生かすことができるよう、農業経営に関する知識やスキルを習得するセミナーの開催や、新しい発想のアグリビジネス創出に向けたグループ活動の支援などを行いました。

また、生き生きと活躍する女性農業者の姿をホームページ等で発信し、「新たに農業を始めてみたい」「経営に携わってみたい」という女性の増加を図っています。



\*\*\*\*\*

## ハンガリー選手団が本番に向けた事前トレーニングを県内で実施！

7月

### 東京 2020 オリンピック ハンガリー直前キャンプ



7月8日のテコンドーを皮切りに、陸上競技、近代五種、水球、トライアスロンの5競技のハンガリー選手団が来県し、直前キャンプを実施しました。

感染防止対策のため、県民の皆さまとの直接的な交流が限定される中、中高生とのオンライン交流や SNS 等を通じた選手団の活動状況の発信等を行いました。

選手団からは、「本県の練習施設は素晴らしく、スタッフを始め県民の人柄にも好感を持った。」などの感想をいただきました。

※栃木県はハンガリーのホストタウンとして国の登録を受けています

\*\*\*\*\*

## 静岡県熱海市へ緊急消防援助隊を派遣

7月

### 緊急消防援助隊の結団式

7月3日に土石流災害が発生した静岡県熱海市に出動するため、緊急消防援助隊の結団式が行われました。県内の消防隊員で構成する緊急消防援助隊延べ225名は、7月19日から25日までの間、行方不明者の捜索に当たりました。

緊急消防援助隊は阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ創設されたもので、本県から地上部隊が出動するのは、平成23年3月の東日本大震災以来です。



「いちご王国・栃木」の共創

8月

「いちご王国」アンバサダー制度の立ち上げ



「いちご王国」の特徴や魅力を最大限に引き出すPRの在り方などを共に創り上げていただく“「いちご王国」アンバサダー”の制度を新たに立ち上げました。いちご生産者や料理人、インフルエンサーなど10名の方々をアンバサダーとして委嘱し、年4回の「いちご王国」アンバサダー会議を通じてプロモーションへの助言をいただくほか、自身のSNSを使った発信などの活動を行っています。

\*\*\*\*\*

栃木県の火を東京2020パラリンピックへ！

8月

東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 栃木県 採火・出立式

共生社会実現の思いを込めた栃木県の火を採火し、都内で行われる東京2020パラリンピック聖火リレー集火式に届ける、採火・出立式をわかくさアリーナ前で実施しました。



その後、本県の火は、日本各地で採火された炎や、パラリンピック発祥の地であるイギリスのストーク・マンデビルで興した火と一つになり、東京2020パラリンピック聖火となりました。

\*\*\*\*\*

功績をたたえて

8月

栃木県スポーツ功労賞授与式



6月に2021世界柔道選手権大会(ハンガリー・ブダペスト)女子78キログラム超級で優勝した朝比奈沙羅(あさひなさら)選手に対し、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と栄誉をたたえ、栃木県スポーツ功労賞を授与しました。

朝比奈選手の今後の活躍に期待します。

# 9月~10月

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で本県選手が大活躍！

### 栃木県民栄誉賞・栃木県スポーツ功労賞授与式

9月

東京 2020 オリンピック競技大会において、柔道男子の高藤直寿選手が金メダルを獲得したのを始め、スポーツライミング男子の檜崎智亜（ならさきともあ）選手が4位入賞、飛込女子の榎本遼香選手が5位入賞、競泳男子の萩野公介選手、水沼尚輝選手がそれぞれ6位入賞。東京 2020 パラリンピック競技大会でも、車いすバスケットボール男子で高松義伸（たかまつよしのぶ）選手が銀メダル、車いすテニス女子で大谷桃子選手がダブルスで銅メダル、シングルスで5位入賞、車いすテニス男子ダブルスで眞田卓（さなだすぐる）選手が4位入賞を果たしました。



これらの活躍により、県民のみならず日本中に希望と活力を与えてくれた功績と栄誉をたたえ、栃木県民栄誉賞（高藤選手）および栃木県スポーツ功労賞の授与が行われました。9月に受賞したのは水沼選手。水沼選手は今回が初めての受賞となりました。

\*\*\*\*\*

## 地域課題を誰でも投稿できる仕組みの誕生

### とちぎデジタルハブがオープン

10月



地域のさまざまな課題と、デジタルによる解決手法を持つ者とのマッチング等を図り、実証実験なども取り入れながら課題を解決する仕組みである「とちぎデジタルハブ」がオープンしました。

デジタルハブサイトで受付した課題について、市町や大学、企業、団体等、多くのプレイヤーと連携・協働して地域の課題の解決に導くとともに、新たな技術やサービスを生み出していきます。

## 里親養育支援の総合拠点が誕生

### 栃木フォスタリングセンター開設

さまざまな事情により本来の家庭で暮らせない子どもの里親等への委託を推進するため、里親養育への包括的な支援を行う「栃木フォスタリングセンター」を開設しました。

センターでは、一人でも多くの子どもが温かい家庭環境の中で安心して生活できるよう、里親制度への社会的理解を促進するための普及啓発活動や、里親数の増加に向けたリクルート活動、より質の高い里親養育を実現するための研修・トレーニングや実際の養育への支援等を包括的に実施しています。

### TFC 栃木フォスタリングセンター



10月

\*\*\*\*\*

## いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会イベントをオンラインで楽しむ！

### 国体・障スポ開催1年前、冬季大会100日前イベント

10月



10月16日、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催1年前と冬季大会開催100日前を記念して「いちご一会オンラインイベント」を行いました。

イベントには、東京2020オリンピック・パラリンピックで活躍した本県出身アスリート3名（高藤直寿選手／柔道、榎本遼香選手／飛込、高松義伸選手／車いすバスケット）が出席し、栃

木県民栄誉賞・栃木県知事特別表彰（栃木県スポーツ功労賞）授与式と知事を交えたトークショーが行われました。

また、榎本選手と高松選手は、両大会の環境に配慮した新ユニフォームの初お披露目会にも登場。H.C. 栃木日光アイスバックスの古橋真来選手と並んでユニフォームに袖を通し、とちぎ国体への思いも語ってくれました。このほか、冬季大会のPR動画が放映されました。今回のイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため無観客で行われ、オンラインでライブ配信されました。

# 10月～11月

## 脱炭素社会への先導モデルを目指して

### 環境配慮型・観光 MaaS「NIKKO MaaS(マース)」開始

本県を含むコンソーシアム6事業者は、日光地域において国内初の環境配慮型・観光 MaaS「NIKKO MaaS」のサービスを開始しました。

「NIKKO MaaS」は、鉄道・バスをセットにしたデジタルフリーパスや EV・PHV カーシェアリング、観光コンテンツをワンストップで検索・購入・利用できるサービスです。

マイカーから鉄道への転換を促進して地域の渋滞緩和を図るとともに、CO<sub>2</sub>を排出しないEVを推進し、観光地域における脱炭素社会への先導モデルになることを目指しています。

#### NIKKO MaaSのサービス概要

鉄道・バスをセットにしたお好きなデジタルフリーパスのほか、EV・PHVカーシェアリングやシェアサイクル、EV/PHV等の環境にやさしいモビリティと歴史・文化・観光施設等の情報・入場チケット、アクティビティ等の体験プログラムをスマートフォンから簡単に検索・購入いただくことができるサービスです。



10月

\*\*\*\*\*

## 水戸光圀以来の調査を開始

### 約330年ぶりとなる、上侍塚古墳の発掘調査がスタート



元禄5(1692)年に日本で初めての学術調査が実施された「侍塚古墳」の再発掘調査が、10月25日からスタートしました。今回調査する上侍塚古墳は、江戸時代以来初めての発掘になります。

江戸時代の調査を指揮した徳川光圀(とくがわみつくに)は、出土品の記録を取った上で、実物は現地に埋め戻し、崩れかけた古墳を復旧させるなど、文化財保護の観点で調査を進めました。このような歴史から侍塚古墳は「日本最初の学術的発掘調査」が行われたとされる重要な古墳です。今後は、古墳の規模や時代、光圀の調査はどのような調査であったのかなどを明らかにしていく予定です。

10月

\*\*\*\*\*

## 障害者のICT利活用を支援

### 栃木県障害者ICTサポートセンターを設置

障害のある方のICT(情報通信技術)利活用を促進するため、とちぎ福祉プラザ内に「栃木県障害者ICTサポートセンター」を設置しました。センターでは、ICT利活用に関する相談支援やパソコンボランティアの養成・派遣、視聴覚障害者を対象とした地域別講習会を開催することで、情報バリアフリーを推進し、障害者の自立と社会参加を一層促進して参ります。



11月



## 文化振興への貢献をたたえて 栃木県文化功労者表彰式

11月



本県の文化振興に著しく貢献された方を、栃木県文化功労者として表彰しており、令和3年度は大畑英雄（耕雲）氏（左）と橋本澄朗氏（右）が選ばれました。

大畑氏は、大畑家に伝わる伝統的な武者絵のぼりの製作技法を習得され、栃木県指定無形文化財保持者としてのぼりの製作に励まれるとともに、地域の伝統文化の振興にも大きく寄与されました。また、橋本氏は、永年にわたり栃木県の考古学研究の第一線で活躍されるとともに、文化財保護に大きな功績を残されています。

11月11日に表彰式が行われ、第1回表彰（昭和24年）からの受章者は、合計152人（学術41人、芸術80人、その他31人）になりました。

\*\*\*\*\*

## いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会で使用する炬火トーチ・ミニ炬火台が完成 炬火トーチ・ミニ炬火台披露式

11月

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開・閉会式や市町の炬火採火イベントなどで使用する炬火トーチとミニ炬火台が完成し、制作に関わった県内企業の皆さまと11月16日に披露式を行いました。



炬火トーチとミニ炬火台は、3月に決定したデザイン画を基に、さまざまな角度から検討を重ねて設計・制作を進め、デザインコンセプトを大切に、本県の素晴らしさを表現したものとなっています。

\*\*\*\*\*

## ベトナムとの経済交流を促進

11月

### ベトナム首相一行来県とビンフック省との覚書締結



11月23日、ベトナム社会主義人民共和国ファム・ミン・チン首相一行が来県し、知事との会談や昼食会、両国県企業が参加した経済フォーラムにおいて、交流を図りました。また、会談においては、貿易投資や農業等の産業分野における交流を促進する覚書を、ベトナムのビンフック省と結びました。

今回の来県は、チン首相ら政府高官の方々に対して本県の魅力を直接PRする機会となり、今後も、県内企業の進出や農産物等の輸出促進、観光誘客など、ベトナムとの経済交流の促進を図り、本県の発展や地域振興につなげていきます。

## 国内外で活躍した方々を招待

12月

### “輝くとちぎ人”の集い

スポーツ・文化・学術・技能などの各分野で国内または国外において、顕著な功績のあった方々に対して感謝と激励の意を表するとともに、その功績を広く県内外に発信するため、“輝くとちぎ人”の集いを県公館で開催しました。



栃木県スポーツ功労賞を受賞した朝比奈沙羅さん、榎本遼香さん、高松義伸さん、栃木県文化功労者の橋本澄朗さんが招待されたほか、国際大会や全国大会の入賞者などさまざまな分野で活躍する約50名が招待され、出席者同士が和やかに懇談し、交流を深めていました。

\*\*\*\*\*

## デジタルを活用した農業教育に着手！

12月

### 農業大学校から農業高校生向けに初のオンライン授業を実施



12月15日、デジタル技術を活用して若い世代の農業への関心を高める「次世代デジタル農業教育推進事業」の一環として、農業大学校が真岡北陵高校の生徒に向けて、初のオンライン授業を実施しました。授業では、農業大学校の教員がいちごの栽培をテーマに、高校にはない栽培施設や品種について説明しました。

また3品種のいちごの試食も用意され、生徒たちは五感をフル活用し品種ごとの特徴を学びました。

\*\*\*\*\*

## 世界へ羽ばたけ“いちご王国・栃木”が誇る新品種

12月

### いちご新品種「とちあいか」の輸出開始！

本県産いちごの新品種である「とちあいか」の本格出荷が始まり、今後も栽培面積拡大によるさらなる生産量の増加が見込まれるため、「とちあいか」の新たな販路として輸出が開始されました。輸出先は主にシンガポールやマレーシアなどの東南アジアであり、現地のスーパーなどで販売されています。今後は現地の需要などを調査するテストマーケティングを実施し、輸出拡大を目指します。



# とちぎ 県政の あゆみ 2021

月	日	できごと
1月	8	栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定
	14	本県に緊急事態措置適用(2月7日まで)
	15	「いちご王国・栃木の日」記念ライブ配信
	17	北関東3県連携プロモーション in ドバイ(30日まで)
	23	第6回栃木県障害者芸術展「Viewing展2021」(31日まで)
	28	阪神のいちごとチョコフェス2021出店(2月6日まで)
	29	栃木ブランド食材フェア2021(県内、大阪)(2月28日まで)
2月	1	不法投棄防止スカイパトロール(5月24日にも実施)
	1	いちご一会とちぎ国体冬季大会開催1年前キャンペーン(28日まで)
	3	「いちご王国」情報発信拠点「とちぎのいちごや」の設置(14日まで)
	5	「栃木県民ごはんの日」プロジェクトの開始
	8	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会カウントダウンモニュメント・カウントダウンボード点灯式
	9	とちぎのいいもの商談会 in 大阪(オンライン、10日まで)
	21	足利市林野火災
	26	第2回栃木県農業大賞表彰式

3月	13	県内養鶏場で初めて高病原性鳥インフルエンザの発生確認
	18	栃木県奨励品種の種苗の安定供給に関する会議
	20	一般国道408号真岡南バイパス開通式
	21	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会公式ポスターデザインおよび炬火台、炬火トーチデザイン表彰式
	26	とちぎデジタル戦略の策定
	28	東京2020オリンピック聖火リレー(29日まで)
4月	1	栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」スタート
	1	栃木県総合運動公園東エリアの供用開始
	2	世界自閉症啓発デー県庁昭和館ブルーライトアップ(~8日)
	4	日環アリーナ栃木供用開始
	6	春の交通安全県民総ぐるみ運動(15日まで)
	6	世界自閉症啓発デー in とちぎ スプリングコンサート2021
	7	農業大学校いちご学科に第1期生が入学
	17	県内養豚農場で初めて豚熱(CFS)の発生を確認
	25	栃木県ライフル射撃場オープニング記念式典
		13
5月	17	とちまる安心認証制度申請受付開始
	18	栃木県排水ポンプ車出動式
	18	とちぎ未来技術フォーラム設立会議
	18	地域共生社会推進フォーラム
	18	「戦略3産業×未来3技術」推進体制の発足
	19	いちご一会とちぎ国体本大会500日前・冬季大会250日前記念セレモニー
	31	とちぎビジネスAIセンター開所
6月	31	芳賀・宇都宮LRT車両お披露目式
	6	栃木県ABCプロジェクト始動
	12	県民の日記念イベント
	12	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会PRイベント
	13	カンセキスタジアムで国際試合開催(なでしこジャパン vs メキシコ女子代表)

7月	16	県営「とちぎワクチン接種センター」の設置
	16	廃棄物運搬車両調査(10月8日にも実施)
	18	「47位(そこ)からの脱出クイズ」インタラクティブ動画配信の開始
7月	1	「とちぎカーボンニュートラル実現会議」設立
	1	「とちぎの花でスマイルアップ」キャンペーンの開始(2月28日まで)
	6	「とちぎ気候変動対策連携フォーラム」設立
	8	とちぎ女性農業者フォーラム「とちぎびいなすLabo」の設置
	8	東京2020オリンピックハンガリー代表直前キャンプ(8月3日まで)
	15	栃木県フロンティア企業認証式
8月	19	静岡県熱海市へ緊急消防援助隊を派遣
	11	「いちご王国」アンバサダーの委嘱
	16	東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 栃木県採火・出立式
	20	本県に緊急事態措置適(9月30日まで)
9月	23	栃木県スポーツ功労賞授与式(朝比奈沙羅選手)
	17	栃木ブランド食材フェア 2021(東京)(30日まで)(10月21日~11月17日にも実施)
	18	第44回栃木県少年の主張発表県大会
	21	秋の交通安全県民総ぐるみ運動(30日まで)
	22	栃木県スポーツ功労賞授与式(水沼尚輝選手)
10月	23	農業大学校いちご学科オープンキャンパス
	4	サナギ新宿×栃木県 栃木県産農産物メニューフェア(10日まで)
	5	健康長寿とちぎづくり表彰
	7	「とちぎデジタルハブ」がオープン
	8	栃木フォスタリングセンター開設
	16	栃木県民栄誉賞(高藤直寿選手)・栃木県スポーツ功労賞(高松義伸選手、榎本遼香選手)授与式
	16	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催1年前オンラインイベント
	19	とちぎ企業立地・魅力発信セミナー
	22	県営土地改良事業の換地業務に係る知

11月	25	事感謝状贈呈式
	25	侍塚古墳の再発掘を開始
	27	栃木県スポーツ功労賞授与式(檜崎智亜選手)
11月	28	環境配慮型・観光MaaS「NIKKO MaaS」サービス開始
	1	栃木県障害者 ICT サポートセンターの設置
	5	「いちご王国」オリジナルアバター「栃おとめ」のお披露目
	9	第13回栃木県交通・生活安全安心県民大会
	11	栃木県スポーツ功労賞授与式(大谷桃子選手)
	11	栃木県文化功労者表彰式
	13	第14回子どもたちの木工工作コンクール
	13	ヒューマンフェスタとちぎ 2021
	15	とちぎ企業立地・魅力発信セミナー in 大阪
	16	栃木県スポーツ功労賞授与式(萩野公介選手)
	16	令和3(2021)年度心豊かな青少年を育む県民のつどい
12月	16	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 炬火トーチ・ミニ炬火台披露式
	20	フェスタ in パルティ 2021
	22	栃木県スポーツ功労賞授与式(真田卓選手)
	23	ベトナム首相一行来県およびビンフック省との覚書締結
	25	令和3年度栃木県きのこ・わさび展示品評会(26日まで)
	4	“輝くとちぎ人”の集い
	8	心の輪を広げる障害者理解促進事業表彰式
	9	栃木県芸術祭表彰式
	11	年末の交通安全県民総ぐるみ運動(31日まで)
	11	とちぎ食育・地産地消に関する表彰式
15	農業大学校による農業高校に向け初のオンライン授業	
17	第59回技能五輪全国大会・第41回全国アビリンピック(20日まで)	
23	阪神のクリスマス2021(25日まで)	
27	いちご新品種「とちあいか」の輸出開始	



## **とちぎ県政のあゆみ 2021**

令和4年4月8日発行

編集・発行／栃木県県民生活部広報課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20

☎ 028-623-2192 FAX 028-623-2160